

授業科目名	日本語表現 (2000011)		
時間割名	日本語表現 (54104)		
時間割担当	鳥谷善史		
実施期	後期	単位数	1
曜日・時限	金・4		

授業の目標・概要

留学生を対象にした科目である。大学で勉学・研究活動を進めるために必要とされる総合的な日本語能力の定着を目指し、言語知識の習得と言語運用能力の育成を図る。専門的な語彙の正確な理解、文法及び構文把握能力の向上、論理の展開を構成する能力を養う。大学の授業で必要な文章表現の力をつけるため、レポート作成に必要な文章構成の型を学び、目的に応じた適切な文体や表現の習得を目指し、文章作成の実践練習を行う。

学習の到達目標

大学での講義における教科書や研究論文などの論理的文章を正確に読み解く能力を養成する。長文を読み、簡潔に要約できる技術とその文章を肯定的または、否定的に論説できる技術の習得を目標とする。文章作成が中心になるが、併せて語彙や文法の知識の習得も目指す。

授業方法・形式

講義を中心に一部発表形式

授業計画

- 第1回 授業内容の説明と評価方法について
- 第2回 日本語の文字表記1(句読点)
- 第3回 日本語の語彙1(書き言葉と話し言葉の違い)
- 第4回 日本語の語彙2(書き言葉と話し言葉の違い)
- 第5回 日本語の語彙3(辞書の活用)
- 第6回 日本語の語彙4(研究分野で利用される語彙)
- 第7回 日本語の語彙5(研究分野で利用される語彙)
- 第8回 日本語での文章表現1(レポートにおける適切な文の長さ)
- 第9回 日本語での文章表現2(レポートにおける適切な文の長さ)
- 第10回 日本語での文章表現3(レポートにおける指示詞と接続詞)
- 第11回 日本語での文章表現4(レポートにおける指示詞と接続詞)
- 第12回 レポートの基本的な書き方1
- 第13回 レポートの基本的な書き方2
- 第14回 レポートの基本的な書き方3
- 第15回 まとめの課題、もしくは小テスト及びその解説

成績評価の基準

授業に取り組む態度40%、課題20%、提出物20%・試験20%

授業時間外の課題

毎回課題に関する小テストをおこなうので、予習・復習時間を十分に確保すること。

メッセージ

全授業回数の3分の1以上欠席した場合。または、課題を提出しなかったり、試験を受けなかった場合は、単位を認定しない。なお、遅刻は2回で1回の欠席とする。

受講者の理解度や興味により、授業計画の一部を変更することがある。

教材・教科書

適宜プリントを配付。

参考書

授業内で、適宜紹介する。